

インフルエンザは 全身に症状の出る感染症。

インフルエンザはインフルエンザウイルスによって引き起こされる呼吸器感染症で、普通の風邪とはまったく違う病気です。発熱や頭痛などと一緒にのどの痛みや鼻水など風邪によく似た症状もみられるため誤解されやすいのですが、インフルエンザの場合、40度近い高熱がでるなど全身にさまざまな症状があらわれます。重症化すると体力のない高齢者や乳幼児などでは生命にかかわりますので、特に注意が必要です。近年は治療法も急速に進歩しているので、風邪とは軽視しないで医療機関で受診してください。

高齢者

高齢者施設での集団感染が報告されています。心疾患、肺疾患、腎疾患などの基礎疾患を持っている人はひどくなるが多く、肺炎などの合併症を起こして死亡することもあります。

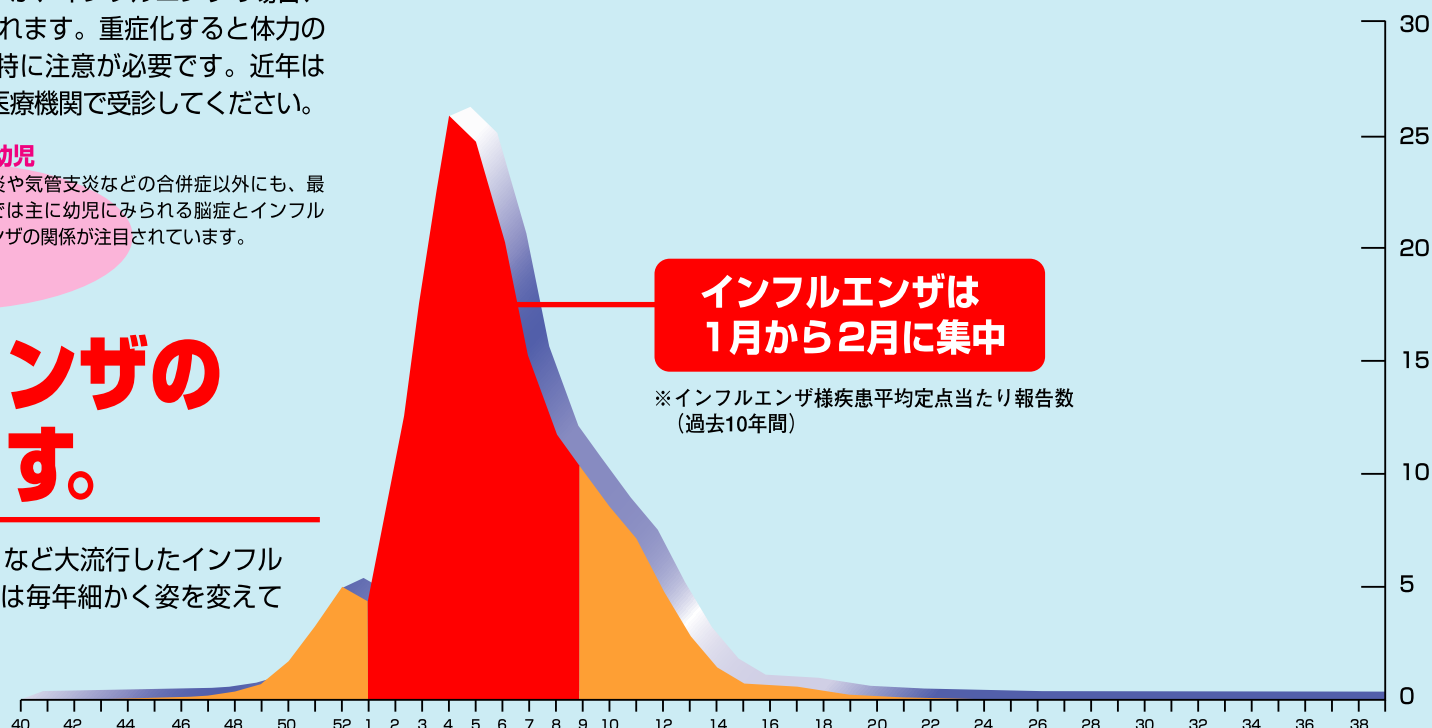


乳幼児

肺炎や気管支炎などの合併症以外にも、最近では主に幼児にみられる脳症とインフルエンザの関係が注目されています。

流行するインフルエンザの タイプは予測できます。

40年ほど前の「アジアかぜ」、30年ほど前の「香港かぜ」など大流行したインフルエンザがありますが、もともとインフルエンザウイルスは毎年細かく姿を変えて出現するものです。したがって予防接種用のワクチンは、毎年流行するインフルエンザウイルスを予測してつくられます。近年予測の技術が高まり、実際の流行とほぼ一致して、優れた効果を発揮しています。



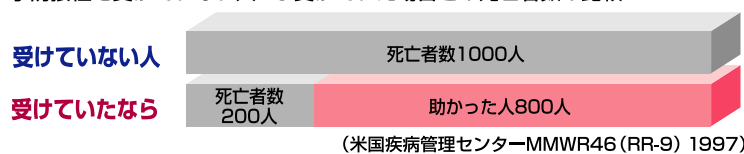
高齢者はインフルエンザにより 肺炎の併発・死亡の危険もあります。 ぜひ予防接種を受けてください。

寒くて空気の乾燥する冬はインフルエンザウイルスの活動するシーズンです。
なお、SARSはインフルエンザと症状が極めて似ていますが、違う病気です。
SARSをご心配の方は、事前に保健所に相談の上、医療機関を受診してください。

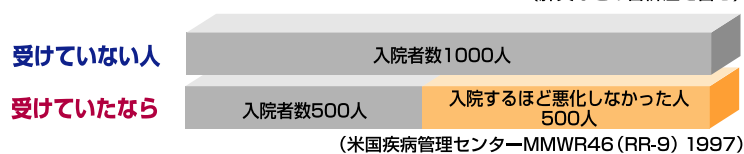
■インフルエンザ予防接種の効果

(出典/米国疾病管理センターMMWR46 (RR-9) 1997、厚生省研究班データ)

予防接種を受けていない人^{*1}が受けていた場合との死亡者数の比較

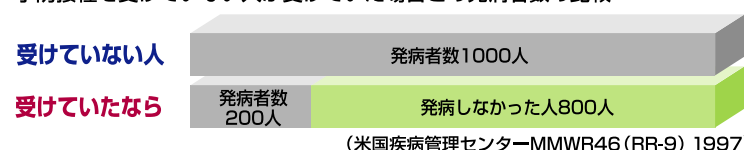


予防接種を受けていない人^{*2}が受けていた場合との死亡者数の比較
(肺炎などの合併症を含む)



65歳未満 の健康な 人の場合

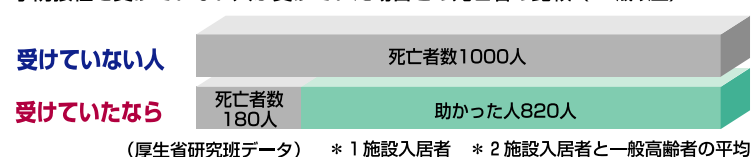
予防接種を受けていない人が受けていた場合との発病者数の比較



■インフルエンザワクチンの効果に関する研究

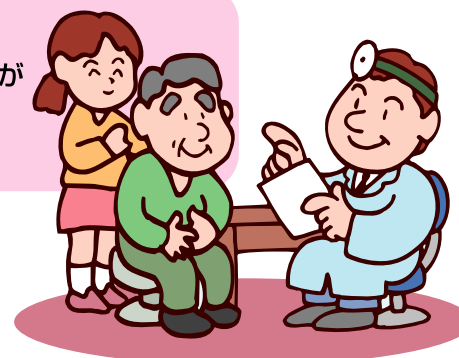
(1997-1999)

予防接種を受けていない人が受けていた場合との死亡者の比較 (65歳以上)



ワクチンの接種にあたって

極めてまれですが、副反応が起こることがありますので、接種にあたっては医師と十分相談しましょう。



10/20
▼
3/19

インフルエンザ・SARS 相談窓口

NPO法人 バイオメディカルサイエンス研究会(バムサ) E-mail inful@npo-bmsa.org

お問い合わせ先

厚生労働省健康局結核感染症課

〒100-8916 東京都千代田区霞ヶ関1-2-2
TEL.03-5253-1111(内線2386) FAX.03-3581-6251
厚生労働省ホームページアドレス
<http://www.mhlw.go.jp>

国立感染症研究所・感染症情報センター

〒162-8640 東京都新宿区戸山1-23-1
TEL.03-5285-1111 FAX.03-5285-1129
国立感染症研究所・感染症情報センターホームページアドレス
<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

日本医師会感染症危機管理対策室

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
TEL.03-3942-6485 FAX.03-3946-2684
日本医師会ホームページアドレス
<http://www.med.or.jp>

TEL.03-3200-6784
FAX.03-3200-5209